

リハビリテーション

下衣

寝た方が楽な方は、寝たままズボンに足を通すことから始めてみましょう。手伝ってもらう頻度をゆっくり減らしましょう。

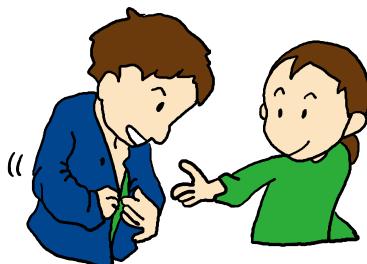


靴下

靴下には様々な方法があります。座れる方は足を組んでやってみましょう。また、寝た状態でも靴下をつま先にはめる練習から挑戦してみてください。

5~10点(満点)の方へ

手伝ってもらう頻度をゆっくり減らして自分でできる範囲を広げましょう。履きやすいズボン、着やすい服を選ぶのも楽しんでみてください。



こんな工夫も

洋服のボタンやズボンのファスナーをマジックテープにかえるだけで、自立しやすくなります。

靴下を履くとき、足の先まで手が届かない方は「ソックスエイド」という簡単にはける道具があります。医師や作業療法士、理学療法士などに相談してみてください。



簡単アドバイス

更衣動作の自立はあせらずゆっくりすすめましょう。

座ってできる練習でもありますので、自主的なトレーニングをどうぞ取り入れてみてください。



Barthel Index
Dressing

更衣



朝起きて、服を着替えて1日が始まります。よそ行きに着替えて外出しましょう。

東京都福祉保健局
公益社団法人 東京都医師会
東京都地域リハビリテーション研修会
—明日から使える知識と技術—
かかりつけ医リハビリテーション普及促進事業 2013

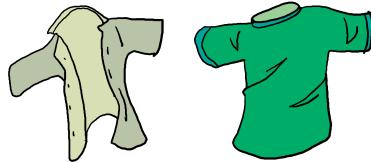
1

更衣とは？

上衣、下衣、靴下にわけてできるかどうかを、みてみましょう。

上衣

かぶりと開きの2種類があります。普段着ているタイプを練習して構いませんが、半身麻痺の方は開きの服が着やすい場合があります。



下衣

ズボンやパンツなどです。まず座って足にズボンを通す練習をしましょう。体をかがめる必要がありますので、転倒に注意してください。



靴下

靴下着脱はいすに座って足を組んで行う方法、前屈みになる方法、寝たまま行う方法があります。この他、靴や下着、コルセットや装具等の着脱も含みます。



2

Barthel Indexの

更衣

あなたは、どの段階ですか？
チェックしてみましょう。

0点〈全介助〉

全ての行程で介助を要し、妥当な時間内に完了することが難しい。



5点〈部分介助〉

全体の半分程度を1人で行える。
時間は妥当な時間内が望ましい。



10点〈自立〉

実用性重視であり形にこだわらず、概ね妥当な時間内に1人で行えれば自立。

3

リハビリテーション

0～5点の方へ

上衣もしくは下衣のいずれかにしほって、**できる範囲を広げましょう。**

上衣

開きの服は片手を先に通すことでも着やすくなります。

着衣の練習は着衣に勝るものは無いので、手伝ってもらうところをゆっくり減らしていきましょう。

基本的に**肩を自分で十分動かせるようになることが有効**なので、頭の上に手を持ち上げる筋力が無い場合は、両手を組んで頭の上に持ち上げるようにしましょう。

また、後頭部を触ったり(結髪動作)
腰に手を回したりする練習(結帶動作)も大切になります。

